

海外邦人援護件数の特徴と推移

1. ～2004年(平成16年)の特徴～

- (1) 2004年におけるわが国在外公館等が取り扱った事件・事故に係わる援護件数の総数は16,023件(対前年比10.7%増)、総援護人数は21,871人(対前年比25.6%増)であった。2004年は、海外渡航者数が前年比26.6%増の1683万1,112人(法務省調べ)と大幅に増加したことに伴い、援護件数も大きく増加した。
- (2) 毎年、海外渡航者数に増減はあるものの、海外渡航者数に占める在外公館における被援護者数の割合は高まる傾向にあり、依然、邦人が海外でトラブル等に遭遇する機会は増加傾向にあると言える。
- (3) 本統計の中で特に目に留まるものとしては、2004年12月にインドネシア・スマトラ島にて(80%以上)は窃盗被害5,169件(前年比7.0%増)であり、詐欺(455件)、強盗被害被援護者も増加し、「事故災害」の人数が875人(396件)から4,427人(386件)に大きく増加したことである。
- (4) 「犯罪被害」は前年の6,253件から6,410件(対前年比2.5%増)と増加している。その多く(80%以上)は窃盗被害5,169件(前年比7.0%増)であり、詐欺(455件)、強盗被害(442件)がこれに続く。またビジネス上のトラブル、入国・査証関係のトラブル、外国人配偶者および子供の問題等に係わる援護案件も増加しており、日本人の外国社会との関係が深まる中、トラブルの内容も多種多様化している傾向が窺える。
- (5) 「犯罪加害」の主な内訳としては、出入国・査証関係犯罪(161件、186人)、道路交通法違反(67件、67人)、傷害、暴行(49件、50人)、麻薬(48件、54人)が挙げられる。
- (6) 地域別では、アジア地域が6,200件(10,871人)と前年に引き続き最も多く、次いで欧州地域4,657件(5,131人)、北米地域2,839件(3,097人)、大洋州地域1,128件(1,258人)、中南米地域708件(913人)、アフリカ地域288件(375人)、中近東地域203件(226人)となっており、過去12年間この地別順位に変動はない。
- (7) 在外公館別の援護件数の上位公館を見ると、在タイ大使館が前年に引続き1,683件と最も多く、次いで在英國大使館(1,223件、前年3位)、在フィリピン大使館(849件、前年5位)、在ロスアンゼルス総領事館(844件、前年2位)、在上海総領事館(836件、前年6位)となっており、特に在タイ大使館は12年連続で全在外公館中、総援護件数が最高となっている。

< 件 数 >

	総 件 数	内 訳	ア ジ ア	北 米	中 南 米	欧 州	大 洋 州	中 東	ア フ リ カ
事 故 ・ 災 害	386			166	74	22	46	54	3
犯 罪 加 害	585		315	162	12	51	32	4	9
犯 罪 被 害	6,410		1,818	716	426	2,714	524	62	150
疾 病	767		441	116	25	91	19	42	33
行 方 不 明	117		53	14	5	31	13	0	1
そ の 他	7,758		3,407	1,757	218	1,724	486	92	74
総 数	16,023		6,200	2,839	708	4,657	1,128	203	288

< 人 数 >

	総 人 数	内 訳	ア ジ ア	北 米	中 南 米	欧 州	大 洋 州	中 東	ア フ リ カ
事 故 ・ 災 害	4,427			4,056	123	33	67	85	3
犯 罪 加 害	721		426	171	13	57	36	4	14
犯 罪 被 害	7,203		2,029	828	512	3,005	593	67	169
疾 病	791		449	116	25	91	20	53	37
行 方 不 明	133		61	16	5	37	13	0	1
そ の 他	8,596		3,850	1,843	325	1,874	511	99	94
総 数	21,871		10,871	3,097	913	5,131	1,258	226	375
内、死亡者数(人)	564		326	110	11	69	24	7	17
内、負傷者数(人)	788		381	83	61	138	93	12	20

2. 事件・事故件数の推移総括表(在外公館および交流協会(台湾)よりの報告ベース)

年度 年	総件数	内容別件数			総人数	死亡者数	負傷者数	[参考] 海外渡航者数 (法務省入国管理局統計)
		強盗・窃盗・詐欺 (被害犯罪・財産犯)	遺失 (旅券・財布等)	その他 (事故・犯罪加害・他案件)				
1995 年	11,549件 (前年比:6.8%増)	5,977件 (前年比:8.0%増)	2,800件 (前年比:10.3%増)	2,772件 (前年比:1.2%増)	12,737人 (前年比:4.3%増)	379人 (内犯罪被害18人)	313人 (内犯罪被害120人)	15,298,125人 (前年比:12.7%増)
1996 年	12,663件 (前年比:9.6%増)	6,490件 (前年比:8.6%増)	3,028件 (前年比:8.1%増)	3,145件 (前年比:13.5%増)	15,261人 (前年比:19.8%増)	444人 (内犯罪被害23人)	407人 (内犯罪被害155人)	16,694,769人 (前年比:9.1%増)
1997 年	12,432件 (前年比:1.8%減)	6,275件 (前年比:3.3%減)	2,971件 (前年比:1.9%減)	3,186件 (前年比:1.3%増)	15,344人 (前年比:0.5%増)	468人 (内犯罪被害29人)	522人 (内犯罪被害161人)	16,802,750人 (前年比:0.6%増)
1998 年	12,818件 (前年比:3.1%増)	6,299件 (前年比:0.4%増)	2,825件 (前年比:4.9%減)	3,694件 (前年比:15.9%増)	19,898人 (前年比:29.7%増)	480人 (内犯罪被害18人)	464人 (内犯罪被害165人)	15,806,218人 (前年比:5.9%減)
1999 年	13,569件 (前年比:5.9%増)	6,482件 (前年比:2.9%増)	3,132件 (前年比:10.9%増)	3,955件 (前年比:7.1%増)	15,657人 (前年比:21.3%減)	462人 (内犯罪被害24人)	600人 (内犯罪被害292人)	16,357,572人 (前年比:3.5%増)
2000 年	14,754件 (前年比:8.7%増)	7,132件 (前年比:10.0%増)	3,261件 (前年比:4.1%増)	4,361件 (前年比:10.3%増)	17,141人 (前年比:9.5%増)	439人 (内犯罪被害19人)	881人 (内犯罪被害545人)	17,818,590人 (前年比:8.9%増)
2001 年	14,118件 (前年比:4.3%減)	7,714件 (前年比:8.2%増)	2,311件 (前年比:29.1%減)	4,093件 (前年比:6.1%減)	16,745人 (前年比:2.3%減)	467人 (内犯罪被害36人)	684人 (内犯罪被害287人)	16,215,657人 (前年比:9.0%減)
2002 年	14,364件 (前年比:1.7%増)	6,837件 (前年比:11.4%減)	2,166件 (前年比:6.3%減)	5,361件 (前年比:31.0%増)	16,996人 (前年比:1.5%増)	516人 (内犯罪被害28人)	670人 (内犯罪被害325人)	16,522,804人 (前年比:1.9%増)
2003 年	14,472件 (前年比:0.8%増)	5,947件 (前年比:13.0%減)	2,508件 (前年比:15.8%増)	6,017件 (前年比:12.2%増)	17,426人 (前年比:2.5%増)	483人 (内犯罪被害27人)	691人 (内犯罪被害278人)	13,296,330人 (前年比:19.5%減)
2004 年	16,023件 (前年比:10.7%増)	6,066件 (前年比:2.0%増)	3,086件 (前年比:23.0%増)	6,871件 (前年比:14.2%増)	21,871人 (前年比:25.5%増)	564人 (内犯罪被害15人)	788人 (内犯罪被害324人)	16,831,112人 (前年比:26.6%増)

注 (1)海外渡航者数は歴年。邦人援護件数は1994年度(平成6年度)までは会計年度ごと、1995年(平成7年)以降は歴年ごとに取りまとめたもの。

(2)死亡者数、負傷者数には、犯罪被害によるもののほか、事故や疾病によるもの、自殺等が含まれる。

3. 地域別件数の推移総括表

年度 年	アジア		北 米		中南米		欧 州		大洋州		中近東		アフリカ		総 数	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
1995 年	4,059 10.0%増	4,350 2.5%増	2,612 7.9%増	2,930 6.5%増	400 10.2%増	472 7.0%増	3,656 3.6%増	4,063 5.6%増	496 5.3%増	554 0.5%増	94 6.9%減	100 4.8%減	232 2.9%減	268 2.9%減	11,549 6.8%増	12,737 4.3%増
1996 年	4,351 7.2%増	4,842 11.3%増	2,939 12.5%増	3,351 14.4%増	381 4.8%減	930 97.0%増	4,053 10.9%増	4,481 10.3%増	514 3.6%増	961 73.5%増	135 43.6%増	160 60.0%増	290 25.0%増	536 100.0%増	12,663 9.6%増	15,261 19.8%増
1997 年	4,099 5.8%減	5,631 16.3%増	2,855 2.9%減	3,303 1.4%減	377 1.0%減	470 49.5%減	4,054 0.0%増	4,537 1.2%増	601 16.9%増	782 18.6%減	173 28.1%増	240 50.0%増	273 5.9%減	381 28.9%減	12,432 1.8%減	15,344 0.5%増
1998 年	4,296 4.8%増	10,318 83.2%増	2,805 1.8%減	3,147 4.7%減	380 0.8%増	484 3.0%増	4,261 5.1%増	4,602 1.4%増	699 16.3%増	797 1.9%増	136 21.4%減	173 27.9%減	241 11.7%減	377 1.0%減	12,818 3.1%増	19,898 29.7%増
1999 年	4,717 9.8%増	5,420 47.5%減	3,042 8.4%増	3,510 11.5%増	414 8.9%増	567 17.1%増	4,238 0.5%減	4,798 4.3%増	718 2.7%増	827 3.8%増	171 25.7%増	188 8.7%増	269 11.6%増	347 8.0%減	13,569 5.9%増	15,657 21.3%減
2000 年	5,015 6.3%増	5,943 9.6%増	3,230 6.2%増	3,595 2.4%増	423 2.2%増	501 11.6%減	4,763 12.4%増	5,403 12.6%増	905 26.0%増	1,207 45.9%増	162 5.3%減	180 4.3%減	256 4.8%減	312 10.1%減	14,754 8.7%増	17,141 9.5%増
2001 年	5,375 7.2%増	5,989 0.8%増	2,794 13.5%減	3,945 9.7%増	450 6.4%増	592 18.2%増	4,285 10.0%減	4,798 11.2%減	895 1.1%減	1,054 12.7%減	100 38.3%減	116 35.6%減	219 14.5%減	251 19.6%減	14,118 4.3%減	16,745 2.3%減
2002 年	5,643 5.0%増	7,242 20.9%増	2,668 4.5%減	2,913 26.2%減	468 4.0%増	552 6.8%減	4,286 0.0%増	4,740 1.2%減	972 8.6%増	1,115 5.8%増	112 12.0%増	123 6.0%増	215 1.8%減	311 23.9%増	14,364 1.7%増	16,996 1.5%増
2003 年	5,645 0.0%増	7,019 3.1%減	2,677 0.3%増	3,036 4.2%増	559 19.4%増	704 27.5%増	4,120 3.9%減	4,802 1.3%増	1,026 5.6%増	1,175 5.4%増	124 10.7%増	143 16.3%増	321 49.3%増	547 75.9%増	14,472 0.8%増	17,426 2.5%増
2004 年	6,200 9.8%増	10,871 54.9%増	2,839 6.1%増	3,097 2.0%増	708 26.7%増	913 29.7%増	4,657 13.0%増	5,131 6.9%増	1,128 9.9%増	1,258 7.1%増	203 63.7%増	226 58.0%増	288 10.3%減	375 31.4%減	16,023 10.7%増	21,871 25.5%増

注：下段は対前年比

4. 2004年(平成16年)の取扱件数の多い在外公館上位20公館

順位	在外公館名	件数	順位	在外公館名	件数
1	在タイ日本国大使館	1,683 件	11	在シドニー日本国総領事館	342 件
2	在英国日本国大使館	1,223 件	12	在ミラノ日本国総領事館	306 件
3	在フィリピン日本国大使館	849 件	13	在ホノルル日本国総領事館	282 件
4	在ロサンゼルス日本国総領事館	844 件	14	在サンフランシスコ日本国総領事館	274 件
5	在上海日本国総領事館	836 件	15	在ブリスベン日本国総領事館	268 件
6	在フランス日本国大使館	575 件	16	在バンクーバー日本国総領事館	257 件
7	在大韓民国日本国大使館	439 件	17	在広州日本国総領事館	251 件
8	在ニューヨーク日本国総領事館	435 件	18	在香港日本国総領事館	227 件
9	在イタリア日本国大使館	366 件	19	在メキシコ日本国大使館	201 件
10	在中華人民共和国日本国大使館	349 件	20	在チェコ日本国大使館	182 件

(参考) 交流協会台北事務所：176件

5. 2004年(平成16年)の主な事件・事故の事例

(1) 事故・災害

- ・ 航空機事故
 - 04年1月 エジプトにおいてチャーター機が離陸直後に紅海に墜落し、乗員乗客全員死亡(邦人3名死亡)
 - 04年8月 フロリダ南部の国立公園で飛行訓練中のヘリコプターが墜落(邦人1名負傷)
- ・ 登山事故
 - 04年4月 マレーシアのキナバル山をグループで登山中の邦人1名が病死
 - 04年8月 スイス・アルプス山峰にて下山途中の邦人1名が滑落し、死亡
 - 04年10月 米国ヨセミテ公園にて登坂中の邦人2名が事故死
 - 04年12月 南アフリカのテーブルマウンテンにて邦人1名が転落死
- ・ レジャー・スポーツ事故
 - 04年2月 サイパン南東部のビーチでシュノーケリング中の邦人2名が高波にのまれて溺死
 - 04年2月 メキシコのユカタン半島コスメル島で遊泳中の邦人1名が溺死
 - 04年7月 ニューゼaland南島ワナカ郊外のスキー場で邦人1名が土手に衝突して死亡
 - 04年7月 キルギスのカラコル市郊外で乗馬中の邦人1名が落馬し死亡
 - 04年8月 グアムにてスカイダイビング事故により、同乗のインストラクターとともに邦人が死亡
- ・ その他の事故
 - 04年12月 インドネシア・スマトラ島にて大規模地震及び津波が発生し、周辺国を含めて甚大な被害を及ぼした。(邦人多数が死亡、行方不明)
- ・ 交通事故
 - 04年1月 インドのゴア州にてオートバイを運転する邦人が横転し、死亡
 - 04年1月 ニュージーランドのオタゴ北部にて邦人運転の車が列車と衝突、邦人2名が死亡
 - 04年2月 ハワイ島にて邦人の運転するレンタカーが他車輻と正面衝突し、邦人1名死亡、1名が負傷
 - 04年5月 ホノルル・ワイキキの歩道にトラックが突っ込み、邦人1名死亡、3名が負傷
 - 04年8月 米国ネバダ州のハイウェイを走行中の邦人運転の車が事故、邦人1名死亡、1名が負傷
 - 04年9月 中国の新疆ウイグル自治区にてタクシーが交通事故に遭遇し、邦人1名死亡、1名が重傷
 - 04年11月 ベトナム・ハノイ市内にて邦人1名がバイクにはねられて死亡
- (2) 戦闘・暴動
 - 04年11月 コートジボワール政府軍が仏軍兵舎を空爆、兵士等10名が死亡した事件から、仏軍が同政府空軍機を破壊、その後両軍の銃撃戦に発展する等の騒乱になったことから、邦人退避オペレーションを実施

(3) 犯罪被害

- ・ 殺人・同未遂 (2004年中に海外で邦人が被害者となった主な殺人事件一覧(P6)参照)
- ・ 誘拐
 - 04年4月 イラク・ファルージャ近郊にて邦人3名が誘拐され、後に無事解放
 - 04年4月 イラク・バクダッド西方にて邦人2名が誘拐され、後に無事解放
- ・ 強盗・同未遂 (一般犯罪者による財産犯被害の特徴(P7)参照)
- ・ 窃盗・同未遂 同
- ・ 詐欺・同未遂 同
- ・ テロ
 - 04年5月 イラクのマムディアにて邦人2名が武装グループに襲撃され殺害された。
 - 04年10月 イラクのバクダッドにおいて、邦人1名が武装グループにより拉致され殺害された。

6. 2004年(平成16年)の主な犯罪加害及びその他の事例の特徴

(1) 犯罪加害

- ・ 出入国・査証関係犯罪 不法滞在、不法入国、密入国幫助等の出入国管理法違反。旅券・査証の偽変造事犯等。
- ・ 詐欺 偽造クレジットカード行使
- ・ 麻薬犯罪 (麻薬犯罪者の傾向と詳細は、麻薬犯罪者の性別・年齢別特徴(P8)参照)

(2) その他の事例

- ・ 疾病 疾病による死亡者は321名を数え、全死亡者の半数以上を占める。
- ・ 精神障害 (精神障害者の性別・年齢別特徴(P9)参照)
- ・ 遺失 本人の不注意によるものが大半。
- ・ 出入国・査証関係 在留邦人、邦人旅行者が移民局等とのトラブルを起こしたケース。逮捕或いは国外退去措置を受けるに至った場合には犯罪加害にて集計。
- ・ 所在調査 遺産相続、不動産登記、用地買収等の為、介在に転居した親族に連絡を取る必要がある場合、弁護士法23条の2による照会、官公庁及び三親等以内の親族よりの所在調査依頼がある。

7. 2004年中に海外で邦人が被害者となった主な殺人事件

発生日	発生国	内容
2004年1月	フィリピン	ガラグナ湖周辺にて邦人企業社員が強盗に襲われて死亡した。
2004年3月	米国	ハワイ島にてレストラン経営の邦人が元従業員に殺害された。
2004年3月	ブラジル	サンパウロ州北部で在留邦人が何者かに頭部を殴打されて死亡した。
2004年3月	フィリピン	マカティ市にて邦人旅行者が何者かに刺殺された。
2004年4月	ボリビア	サンタクルス在住の在留邦人宅に何者かが忍び込み、同邦人に発砲して殺害した。
2004年5月	グアテマラ	グアテマラ市にて在留邦人が何者かに路上で襲撃され死亡した。
2004年8月	フィリピン	マニラ空港から市内に向かう道中の邦人が、強盗に拳銃で撃たれて死亡した。
2004年12月	フィリピン	カピラ州において邦人の射殺体が発見された。

8. 一般犯罪による財産犯(窃盗・強盗・詐欺)被害件数と手口

区 分	件 数	地 域 別							人 数	性 別			年 齢						
		アジア	北 米	中 南 米	欧 州	大 洋 州	中 近 東	アフリカ		男 性	女 性	不 明	19歳以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	不 明
窃 盗 計	5,169	1,257	640	277	2,466	397	33	99	5,742	3,281	2,327	134	242	1,594	1,226	805	825	605	445
置き引き 小計	2,225	515	302	96	1,146	120	12	34	2,444	1,474	901	69	92	644	480	369	403	278	178
レストラン	497	112	87	22	232	37	2	5	532	305	217	10	19	158	109	82	88	46	30
空港	249	66	27	15	132	7	1	1	287	196	65	26	12	28	49	56	59	40	43
ホテル	443	106	76	7	231	13	2	8	486	276	200	10	11	72	79	85	110	92	37
デパート	72	42	9	0	20	1	0	0	79	53	22	4	4	11	19	15	12	12	6
列車・長距離バス	297	43	3	17	228	1	1	4	333	225	105	3	16	114	66	39	48	31	19
路上・地下鉄	155	28	18	9	90	6	2	2	165	100	62	3	6	58	33	26	21	9	12
その他	512	118	82	26	213	55	4	14	562	319	230	13	24	203	125	66	65	48	31
スリ 小計	1,274	326	35	68	784	36	7	18	1,364	702	635	27	58	378	277	171	200	190	90
話掛け	73	11	0	4	55	2	0	1	81	54	26	1	1	22	19	13	12	7	7
道案内依頼	20	16	0	0	4	0	0	0	20	18	2	0	1	6	4	3	3	3	0
子供のスリ集団	37	3	0	1	33	0	0	0	38	13	24	1	2	14	8	8	2	4	0
集団スリ	161	32	1	21	104	0	1	2	190	107	80	3	4	46	33	21	35	28	23
ケッチャップ、コイン落しスリ等	21	4	2	0	14	0	0	1	21	14	6	1	1	7	5	1	5	2	0
その他	962	260	32	42	574	34	6	14	1,014	496	497	21	49	283	208	125	143	146	60
その他 小計	1,670	416	303	113	536	241	14	47	1,934	1,105	791	38	92	572	469	265	222	137	177
車上狙い	541	109	192	23	146	59	2	10	668	480	174	14	33	174	185	115	99	31	31
空巣	231	39	46	17	55	61	4	9	264	136	127	1	20	91	61	29	24	12	27
ひったくり	406	106	25	41	194	29	3	8	444	148	284	12	13	133	99	54	50	41	54
その他	492	162	40	32	141	92	5	20	558	341	206	11	26	174	124	67	49	53	65
強 盗 計	442	104	20	115	112	48	15	28	549	365	171	13	14	205	115	53	44	39	79
強奪/バイク	3	1	0	1	1	0	0	0	5	4	1	0	1	0	2	0	2	0	0
強奪/車	14	2	1	7	0	2	1	1	22	16	4	2	2	3	6	2	5	1	3
強奪/その他	95	20	2	17	24	22	5	5	118	78	39	1	5	50	23	7	6	14	13
睡眠薬強盗	59	42	0	5	4	2	6	0	66	62	4	0	2	35	18	2	2	1	6
侵入強盗	36	9	1	17	2	3	0	4	62	34	19	9	1	18	5	8	5	7	18
カージャック	14	4	0	4	2	2	0	2	19	16	3	0	2	7	1	1	0	8	
羽交い締め強盗	99	6	1	22	59	6	0	5	110	64	45	1	0	36	23	15	14	10	12
その他	122	20	15	42	20	11	3	11	147	91	56	0	3	61	31	18	9	6	19
詐 欺 計	455	294	26	11	81	25	7	11	495	308	170	17	4	197	66	27	20	25	156
いかさま賭博	136	136	0	0	0	0	0	0	141	84	54	3	0	86	19	4	2	6	24
暴力キャッチパー	24	15	0	0	5	1	2	1	26	23	2	1	0	13	4	3	0	0	6
宝石・洋服詐欺	48	48	0	0	0	0	0	0	58	35	21	2	0	18	4	0	0	2	34
偽警官・ガイド	48	11	0	6	24	0	3	4	58	45	11	2	2	23	11	8	5	3	6
寸借詐欺	40	12	9	0	12	6	0	1	40	23	17	0	1	15	7	0	2	1	14
その他	159	72	17	5	40	18	2	5	172	98	65	9	1	42	21	12	11	13	72
合 計	6,066	1,655	686	403	2,659	470	55	138	6,786	3,954	2,668	164	260	1,996	1,407	885	889	669	680

区分の説明：「窃盗」の「その他」欄は、主にインターネットカフェ、ビーチ、公園、ゲームセンター、駅構内等。

「スリ」被害のほとんどは無意識のうちに被害にあっており、具体的手口等の細分化が困難であるので、スリ被害の大半はその他欄に記載した。

上記「強盗」「強奪」の「その他」欄は、そのほとんどが数名の集団または拳銃、凶器の所持によるもの。

主な手口

(1) 窃盗(置き引き被害)：多地域において、ホテルやレストランで食事の際、buffestailで食事を取りにしている間、席に置いておいた荷物を盗まれる。

(2) 窃盗(スリ被害)：欧州地域において、列車の発車直前に窓の外から声を掛けられ、気を取られているうちに仲間が荷物等を盗んでいく。

(3) 詐欺(いかさま賭博)：東南アジアを中心に「家族が日本に行くので日本のことを教えて欲しい。等」言葉巧みに誘い入れ、トランプ賭博等を持ちかけて金を巻き上げる。

(4) 詐欺(売りつけ詐欺)：アジア地域において、20～30代の邦人を標的に高価な宝石・盗品・洋服等売りつける。

(5) 詐欺(偽警官詐欺)：アジア・欧州地域において、街中で声を掛けられ話していると後から私服警官と称する者が現われ、「麻薬の取引をしているのでないか。」と身体検査をされている間に財布の現金を盗まれる。

(6) 強盗(首締め被害)：欧州地域を中心として、特に単独旅行者および女性グループを標的に首締めまたは羽交い締めになされ、数名により所持品を強奪される。

9. 麻薬犯罪者、疾病者、精神障害者、行方不明者及び安否照会者の性別・年齢別特徴

麻薬犯罪者の性別・年齢別特徴

地域名	総人数	性別			年齢							滞在形態		
		男性	女性	不明	19歳以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	不明	在留邦人	旅行者	不明
アジア地域	34	30	4	0	0	17	7	5	3	1	1	7	22	5
北米地域	5	5	0	0	0	4	1	0	0	0	0	1	3	1
中南米地域	8	7	1	0	0	3	3	1	0	0	1	2	6	0
欧州地域	2	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	1
大洋州地域	3	3	0	0	0	2	1	0	0	0	0	2	0	1
中近東地域	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アフリカ地域	2	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0
合計	54	49	5	0	0	29	12	7	3	1	2	12	34	8

麻薬犯罪は20代・30代で3分の2以上を占める。
旅行者が大多数

疾病者の性別・年齢別特徴

地域名	総人数	性別			年齢							滞在形態		
		男性	女性	不明	19歳以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	不明	在留邦人	旅行者	不明
アジア地域	449	356	90	3	26	34	37	63	109	140	40	217	190	42
北米地域	116	61	55	0	2	7	13	11	22	41	20	64	46	6
中南米地域	25	16	9	0	0	4	0	3	3	9	6	12	13	0
欧州地域	91	43	48	0	2	7	15	5	11	26	25	36	43	12
大洋州地域	20	8	11	1	1	5	2	0	3	5	4	10	9	1
中近東地域	53	35	18	0	0	14	15	3	6	3	12	33	9	11
アフリカ地域	37	25	10	2	1	15	5	3	3	7	3	12	20	5
合計	791	544	241	6	32	86	87	88	157	231	110	384	330	77

精神障害者の性別・年齢別特徴

地域名	総人数	性別			年齢							滞在形態		
		男性	女性	不明	19歳以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	不明	在留邦人	旅行者	不明
アジア地域	94	68	25	1	1	31	28	19	5	3	7	18	65	11
北米地域	91	35	56	0	3	21	23	20	7	7	10	45	40	6
中南米地域	8	3	5	0	0	0	5	2	1	0	0	2	6	0
欧州地域	46	14	32	0	1	12	10	9	4	0	10	20	20	6
大洋州地域	20	11	8	1	0	10	4	3	0	0	3	14	4	2
中近東地域	2	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	0
アフリカ地域	4	3	1	0	1	1	2	0	0	0	0	2	2	0
合計	265	135	128	2	6	76	73	53	17	10	30	101	139	25

行方不明者の性別・年齢別特徴

地域名	総人数	性別			年齢							滞在形態		
		男性	女性	不明	19歳以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	不明	在留邦人	旅行者	不明
アジア地域	61	47	13	1	7	5	8	11	6	10	14	12	34	15
北米地域	16	8	8	0	3	4	4	0	0	0	5	11	4	1
中南米地域	5	5	0	0	0	1	2	0	1	0	1	1	4	0
欧州地域	37	14	21	2	0	8	3	4	1	4	17	12	22	3
大洋州地域	13	9	4	0	1	5	1	0	3	2	1	6	7	0
中近東地域	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アフリカ地域	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
合計	133	83	47	3	11	24	18	15	11	16	38	42	72	19

安否照会者の性別・年齢別特徴

地域名	総人数	性別			年齢							滞在形態		
		男性	女性	不明	19歳以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	不明	在留邦人	旅行者	不明
アジア地域	300	203	90	7	15	87	65	35	31	21	46	71	169	60
北米地域	121	54	65	2	7	32	22	12	6	7	35	77	21	23
中南米地域	8	4	4	0	0	5	0	1	0	0	2	1	6	1
欧州地域	43	13	30	0	2	20	6	4	2	3	6	23	18	2
大洋州地域	22	11	11	0	1	6	8	1	0	0	6	11	6	5
中近東地域	9	7	2	0	1	3	1	1	2	0	1	4	5	0
アフリカ地域	4	2	2	0	0	1	2	1	0	0	0	1	2	1
合計	507	294	204	9	26	154	104	55	41	31	96	188	227	92